

アフリカ編：
ソーシャルインパクト
構築ワークショップ

開催日時：2022年3月4日（金）10:00 18:00
開催場所：立命館大学 大阪いばらきキャンパス
講師：(株)AfricaScan セネラルマネージャー 原 健太氏



2021 年度立命館大学 EDGE + R

「アフリカ編：ソーシャルインパクト構築ワークショップ」

【募集要項】

【概要】

本年度最後のワークショップは、「アフリカ編：ソーシャルインパクト構築ワークショップ」です。7月に開催した「起業家・事業家トークイベント第1回」にて、「開発途上国のソーシャルインパクト」や“持続可能性”、“開発途上国でのビジネス”についてご講演いただいた株式会社 [AfricaScan](#) セネラルマネージャー原健太氏を講師に迎え、1日完結型ワークショップを開催します。チームに分かれアフリカをターゲット市場に仮設構築を行うワークをメインにし、アフリカ(AfricaScan ケニア現地社員)とリアルタイムで繋ぎ、英語によるヒアリング調査や議論を通じて、仮設構築・検証・ソリューションアイデアを考え発表します。尚、講義は日本語、インタビューは英語で実施します。英語は必須条件ではありませんが、英語での会話にチャレンジしてみたい人など歓迎します。また、他大学の学生さんとも交流するチャンスです。興味のある方は是非ご参加ください。

日 時： 2022年3月4日（金）10:00～18:00

場 所：立命館大学 大阪いばらきキャンパス C棟3階 C373

定 員：20名程度

募集対象：立命館大学生・大学院生、附属校、APU、他大学生

実施言語：講義／日本語

インタビュー／英語

発表／英語（少なくとも発表スライドは英語）

内 容：※内容は変更になる場合があります

- 1000- 開会あいさつ、EDGE+R 紹介
- 1015- アイスブレイクワーク
- 1030- 講義(ソーシャルインパクトと行動変容)
- 1100- ワーク(行動変容について/仮設構築/ボトルネックを探せ)
- 1145- シェア時間
- 1215- 休憩
- 1315- 講座/ワーク(ソリューションコンセプト)
- 1400- アフリカ現地インタビュー
- 1530- 休憩
- 1545- ワーク(再度ソリューションコンセプト)/プレゼン作成
- 1645- 発表、講評
- 1745- ラップアップ

*アフリカについては事前動画にて説明共有あり

講 師：株式会社 AfricaScan ゼネラルマネージャー 原 健太氏

～プロフィール～

東京農業大学大学院修士課程(国際農業開発学)を卒業後、同大学にて助手として勤務。2014年に JICA 青年海外協力隊として野菜を通じたヘルスプロモーションをサモア独立国に赴任。帰国後は、立命館大学にて大学リサーチアドミニストレーター(URA)として知的財産管理、新規事業開発、プロジェクトマネジメントに従事。国連大学グローバルリーダー育成プログラム修了。現在は、ソーシャルマーケティングを行う『AfricaScan』のゼネラルマネージャーとして、ケニア・東アフリカの医療課題の解決や健康増進に尽力している。

- ・株式会社ソニックアーク代表取締役社長
- ・立命館大学客員研究員
- ・一般社団法人アフリカクエスト理事

～参考～

2021 年度 EDGE + R 起業家・事業家トークイベント第 1 回アーカイブ
HP http://www.ritsumei.ac.jp/ru_gr/edge/report/article.html/?id=47

主 催：立命館大学 EDGE+R（イノベーションアーキテクト養成）プログラム

参加費：無料（交通費は自己負担）

応募方法：下記フォームよりお申し込みください

※応募フォームが2つに分かれておりますので、お間違いのないように

立命館大学生はこちら／

<https://cw.ritsumeai.ac.jp/campusweb/SVA20D0.html?key=SUR20220117125152287843541>

APU 及び他大学生、高校生／

<https://forms.gle/FnpG2141KnxwCrZQ9>

締 切：1月31日（月）23:59

問合せ先：立命館大学EDGEプログラム運営事務局 担当者：勝屋・吉川

（立命館大学 びわこ・くさつキャンパス 共通教育課内）

Tel：077-561-5910

e-mail：r-edge@st.ritsumeai.ac.jp

HP：http://www.ritsumeai.ac.jp/ru_gr/edge/



【コロナウイルス感染拡大予防対策に関して】

<参加者全員>

- ・事前にご自宅で検温を済ませ、発熱や息苦しさ（呼吸困難）、強いだるさ（倦怠感）、嗅覚・味覚異常の症状等がないか確認してください。（発熱は37.5度以上もしくは平熱より1度以上を目安とする）。該当する場合は出席を禁止いたします。
- ・会場入口で検温、風邪症状、下痢・腹痛・嘔吐の症状、同居家族の状況の確認と記録を行います。

※37.5度以上の発熱等の症状がわかった場合は、速やかに帰宅して症状がよくなるまで自宅療養してください

- ・全員マスク着用。会場への移動および会場内滞在時にマスク着用を義務付けます。

□参加者全員、清潔なハンカチ、又はタオル持参。

- ・不要な会話、大声での会話の禁止や咳エチケット。
- ・会話をする際はできる限り真正面を避けてください。

<運営面>

- ・換気扇・ドアの開放など、換気の徹底。

- ・ソーシャルディスタンス（身体的距離2m/最低1m）の確保。
- ・会場内の収容人数は各教室収容定員の1/2以内。
- ・会場入り口および会場内に手指消毒液を設置、こまめな消毒・手洗いの徹底。
- ・共有備品（マイクなど）および共用部分（手摺り、ドアノブなど）の消毒の徹底。

【参考】立命館大学として実施する感染防止対策

感染防止対策の基本（立命館大学における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン
一部抜粋）

- 「新しい生活様式」にもとづき厚生労働省が推奨する基本的な感染防止策（①身体的距離の確保、②マスク着用、③手洗い）とともに、「3つの密」（密閉・密集・密接）を避けるための対策を基本に、学生のみなさんや教職員が安心・安全に授業や学生生活を送ることができるよう、大学としてできる限りの対策をとることとしています。
- また、自分のため、みんなのため、そして大切な人のために、「自らが感染しない」「人に感染させない」ための行動に、一人ひとりが取り組んでいくことが大切です。
- 詳細については、本ガイドラインとともに、「新しいキャンパスライフをはじめよう！～新型コロナウイルス感染拡大予防マニュアル（第2版）」（2020年9月16日）をご参照ください。同マニュアルは主に学生（学部学生、大学院生）を対象に作成されたものですが、教職員をはじめ、大学を構成するみなさんに必要な情報を掲載しています。
<http://www.ritsumeai.ac.jp/file.jsp?id=462241&if=.pdf>

（参考資料）

WITH CORONA
Start a New Campus Life

新しいキャンパスライフをはじめよう！

<p>マスクの着用 Wear a mask</p> 	<p>手を洗う Wash your hands</p> 	<p>食事の会話控えて Refrain from talking while eating</p> 
<p>密閉は避ける Avoid closed spaces</p> 	<p>密集は避ける Avoid crowded places</p> 	<p>密接は避ける Avoid close-contact settings</p> 
<p>出かける前に体温測定 Take your temperature before leaving home</p> 	<p>大声を出さない Keep your voice down</p> 	<p>接触確認アプリを利用する Use a contact-tracing app</p> 

R RITSUMEIKAN UNIVERSITY

新しいキャンパスライフをはじめよう！—実践例—

1 一人ひとりの基本的感染対策

感染防止の3つの基本: ①身体的距離の確保 ②マスクの着用 ③手洗い

- 人との間隔は、できるだけ2m(最低1m)空ける
- 会話をする際は、可能な限り真正面を避ける
- 外出時や屋内でも会話をすると、人との間隔が十分とれない場合はマスクを着用する
- 家に帰ったらまず手や顔を洗う
- 手洗いは30秒程度かけて水と石けんで丁寧に洗う(手指消毒薬の使用も可)

移動に関する感染対策

- 感染が流行している地域からの移動、感染が流行している地域への移動は控える
- 発症したときのため、運どこで会ったかをメモにする。接触確認アプリの活用も
- 地域の感染状況に注意する

2 日常生活を営む上での基本的生活様式

- まめに手洗い・手指消毒
- 窓之チアットの確保
- こまめに換気(エアコン併用で室温を28℃以下に)
- 身体的距離の確保
- 「3密」の回避(密集、密接、密閉)
- 健康状態に応じた運動や食事、禁煙等、適切な生活習慣の実行
- 毎朝の体温測定、健康チェック

3 各場面別のキャンパスライフ

教室等の利用について

- キャンパス内では必ずマスクを着用する
- 一部の設備が利用可能な場合はマスクを着用する
- 教室の換気(窓開け・ドア開けなど)に協力する

講義室の利用について

- 会場の前に必ず手洗いをする
- 利用後必ず手を洗う
- 不要な会話は避けて、速やかに会話を終る

課外自主活動について

- 対応による活動を再開するにあたっては、学生部に申請して許可を受ける(申請期間あり)
- 学生部と確認した対応方針に従って活動する

4 とくに学生のみなさんに考えてほしいこと

- 多くの学生・教員の皆さんは、「3密」の発生しやすい場所に参加してしまう等により、知らないうちに感染を広げてしまうことがあるかもしれない。学生・教員の皆さん一人ひとりが自分事としてこの状況に向き合い、責任と自覚をもって行動を取るように心がけよう。また、家族以外との飲食、特にクラスターが発生しやすいと言われている場所(カラオケ、劇場・ライブハウス、スタック・バー、居酒屋等)の利用はできるだけ控えるようにしよう。

詳しくは、下記のガイドラインを事前にご確認ください。

[立命館大学における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン（第2版）（2020年9月16日改訂）](#)